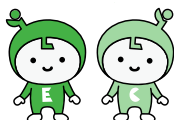




Institute of Labor Education & Culture

通信 No.74



2026年4月10日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <https://www.rengo-ilec.or.jp/>

発行責任者：専務理事 永井 浩

## ●●● 第23回「私の提言」募集中 ●●●

**組合特別賞もあります！所属組織の取り組みや共同執筆での応募也大歓迎！**

教育文化協会と連合の共催による「私の提言」は今年で23回を数え、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと」をテーマに、現在提言を募集しています。

前回、教育文化協会の設立30周年を記念として設置した「ILEC30周年記念・組合部門特別賞」を、労働組合からの応募を促進する観点から、「組合部門特別賞」として継続することとしました。所属組織の取り組みや働く現場の課題意識なども、この機会にぜひお寄せください。お仲間との共同応募や組織からの応募も大いに歓迎いたします。

受賞者には連合中央委員会（10月8日（木））で表彰するとともに副賞もごございます。応募締め切りは7月21日（火）です。詳細は教育文化協会ホームページの募集案内よりご確認ください。みなさまからのご応募をお待ちしております。

**連合・教育文化協会共催 第23回**

# 「私の提言」募集

募集テーマ

働くことを軸とする安心社会  
—まもる・つなぐ・創り出す—の  
実現に向けて

**連合・労働組合が  
今取り組むべきこと**

(オリジナルで未発表のものに限る)

**表 彰**

優秀賞	【1篇/表彰盾と副賞】	<b>20万円</b>
佳作賞	【若干篇/賞状と副賞】	<b>10万円</b>
組合部門特別賞	【1篇/賞状と副賞】	<b>5万円</b>
奨励賞	【若干篇/賞状と副賞】	<b>3万円</b>
学生特別賞	【1篇/賞状と副賞】	<b>12万円</b>

奨学金1万円×12ヶ月

- 連合第98回中央委員会(2026年10月8日)で表彰予定。
- 学生特別賞は、2026年9月時点で、大学院・大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・専修学校、各種学校など、各学校に在籍している方が対象となります。
- 入賞者は9月17日(木)に教育文化協会ホームページで発表。

**応募締切**

**2026年7月21日(火)**

**応募資格**      **応募方法**

●どなたでも応募  
いただけます      Webサイトの  
応募フォームから応募

**応募・お問い合わせ先**

公益社団法人 教育文化協会  
E-mail [info@rengo-ilec.or.jp](mailto:info@rengo-ilec.or.jp)  
電話 **03-5295-5421**

詳しくは  教育文化協会  私の提言  検索

**連合 ILEC 教育文化協会**

## R e n g o アカデミー・第25回マスターコース後期研修を4～5月に実施

2025年11月に開講したR e n g o アカデミー・第25回マスターコースは、現在、自主研究や必修ゼミを通じて各自の課題に対する考察を深めているところです。4月20日（月）、21日（火）には後期通学研修を、5月17日（日）～20日（水）には後期合宿研修をそれぞれ予定しています。研修では、各種講義に加え、ゼミナール大会でそれぞれが修了論文の骨子を発表し、講師や受講生からの意見も参考に論文執筆を進めていきます。受講生を派遣いただいている組織のみなさまには、引き続き研修への参加および論文執筆に向けたご理解・ご協力をお願いいたします。なお、講義は聴講も可能としております。詳細は追ってお知らせいたします。

## 連合寄付講座・前期講義がスタートしています

2026年度前期の連合寄付講座が4月より順次始まっています。21年目を迎える同志社大学と10年目を迎える中央大学、そして昨年度より開講した明治大学経営学部でそれぞれ寄付講座がスタートしました。また、地方連合会でも、岩手大学、岐阜大学、富山大学、福井県立大学、滋賀大学、九州大学、西南学院大学、長崎大学、熊本大学の計9大学で前期の講座を開講しています。

### 2026年度同志社大学 春学期「連合寄付講座：働くということー現代の労働組合」プログラム

回数	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	オンデマンド	【オリエンテーション】 日本の労使関係の特質と労働組合の課題	石田 光男 同志社大学名誉教授 コーディネーター：同志社大学教員
2	4/17	「働くこと」について考える -労働組合の果たすべき役割とは-	永井 浩 (公社)教育文化協会専務理事
3	4/24	学生のうちに知っておきたいワークルール	小林 妙 連合フェアワーク推進局長
4	5/8	①総労働時間の短縮とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み	阪本裕実子 生保労連中央副執行委員長
5	5/15	②男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	吉田 春菜 JR連合執行委員
6	5/22	③公務労働の現状と公共サービスの役割 -公務関係労組の取り組み-	八巻 由美 自治労総合企画総務局長 兼 国際局長
7	5/29	④非正規雇用労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	立花 正貴 伊藤ハム米久労働組合 中央執行委員長
8	6/5	⑤中小企業に対する産業別労働組合の支援	浜 博幸 JAM副書記長
9	6/12	⑥労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み -賃金決定における取り組みを中心に-	上野都砂子 CKD労働組合事務局長
10	6/19	労働組合の意義・役割とは何か -今一度振り返って考えてみる-	中村 圭介 東京大学名誉教授
11	6/26	①最低賃金改訂に向けた連合の取り組み	小菅 元生 連合労働条件・中小地域対策局長
12	7/3	②すべての働く者のための取り組み -労働者福祉運動のさらなる広がりをめざして-	佐保 昌一 中央労協事務局長
13	7/10	③地域における政策・制度実現に向けた取り組み -連合京都における取り組み-	土測 誠 連合京都事務局長
14	7/17	連合運動の現在と未来 -これから社会へ出る皆さんへ-	芳野 友子 連合会長
15	オンデマンド	【レポート講評/論点整理】 期末レポートの解説・講評/レポート教員による論点整理	同志社大学 教員

### 2026年度明治大学 春学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回数	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	4/15	【開講の辞】連合寄付講座で明治大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起】労働者を取り巻く職場の現状と課題 ～労働組合の果たすべき役割とは～	相原 康伸 (公社)教育文化協会理事長
2	4/22	【ケーススタディ①】労働時間の短縮に向けた取り組み	松田 惣佑 生保労連書記長
3	4/29	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法などの説明)	山崎 憲 明治大学経営学部教授
4	5/13	【ケーススタディ②】非正規雇用労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	立花 正貴 伊藤ハム米久労働組合 中央執行委員長
5	5/20	【ケーススタディ③】いま働く現場で何が起きているのか ～職場における課題と労働組合の役割～	森 啓記 連合 中央労働相談センター局長
6	5/27	【ケーススタディ④】公務労働の現状と公共サービスの役割	八巻 由美 自治労 総合企画総務局長
7	6/3	【ケーススタディ⑤】デジタル化の進展に伴う課題と労働組合の役割	浦 早苗 KDDI労働組合 中央執行委員長
8	6/10	【ケーススタディ⑥】男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	深見 正弘 全労金 中央執行委員長
9	6/17	【課題への対応①】すべての働く者のための取り組み ～働く仲間を支える労働金庫とこくみん共済 coop～	全国労働金庫協会 こくみん共済 coop
10	6/24	【課題への対応②】国際労働運動の役割 ～グローバルゼーションへの対応～	郷野 晶子 国際労働組合総連合 (ITUC) 会長
11	7/1	【課題への対応③】雇用と生活を守る取り組み	浜 博幸 JAM副書記長
12	7/8	【課題への対応④】労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	羽野 晃正 連合 労働条件・中小地域対策局局長
13	7/15	【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	芳野 友子 連合会長
14	7/22	総括 (これまでの講義についての論点整理)	山崎 憲 明治大学経営学部教授

## 2026年度中央大学前期「連合寄付講座：働くということー現代の労働組合」プログラム

回数	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	4/14	基礎知識①オリエンテーション	阿部 正浩 中央大学経済学部教授
2	4/21	基礎知識②日本経済と労働市場	阿部 正浩 中央大学経済学部教授
3	4/28	【開講の辞】連合寄付講座で中央大生に学んでほしいこと 【課題提起①】労働者を取り巻く職場の現状と課題 ～労働組合の果たすべき役割とは	相原 康伸 (公社) 教育文化協会理事長
4	5/12	【課題提起②】今、働く現場で何が起きているのか ～労働相談から見た雇用の現状	森 啓記 連合 中央労働相談センター局長
5	5/19	【課題提起③】ワークルールを知る・ワークルールミニ検定に挑戦!	春田 雄一 連合総合運動推進局長
6	5/26	【ケーススタディ①】労働組合の結成とその後の労使関係の変化	山本 伸 アルプス技研労働組合 委員長
7	6/2	【ケーススタディ②】労働組合の役割と組合役員の活動	白山友美子 Umios Union中央執行委員長
8	6/9	【ケーススタディ③】誰もがともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	谷口 典央 生保労連中央副執行委員長
9	6/16	【ケーススタディ④】雇用確保の取り組み	矢内 俊行 U Aゼンセン 製造産業部門 常任執行委員
10	6/23	【ケーススタディ⑤】公務労働の現状と公共サービスの役割	氷室佐由里 自治労総合労働局長
11	6/30	【ケーススタディ⑥】産業別労働組合の春季生活闘争の取り組み	津崎 暁洋 フード連合会長
12	7/7	【課題への対応】連合の雇用労働法制に関する取り組み ～新しい働き方への対応を通じて～	連合 労働法制局
13	7/14	【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて	調整中
14	7/21	これまでの講義についての論点整理	阿部 正浩 中央大学経済学部教授

※同志社大学と中央大学では聴講もできます。詳細は教育文化協会HPをご覧ください。

## 第20回「労働法講座(基礎コース)」を開催!

1月27日(火)～28日(水)の2日間、連合会館8階三役会議室において、第20回労働法講座(基礎コース)を対面、オンライン併用で開催し、地方連合会や構成組織から21名が受講しました。

1日目の午前、明治大学の野川忍名誉教授より、労働関連法の全体像と必要性や役割、具体的な適用例など、体系的にわかりやすくご講義いただきました。午後は、慶應義塾大学法科大学院の森戸英幸教授より、労働組合法や男女雇用機会均等法、非正規雇用労働者の待遇格差、障害者雇用促進法などについて、判例も交えながら解説いただきました。

2日目は、連合労働法制局の菅村裕子局長より、連合の取り組みや、法整備にむけた議論の最近のトレンドや審議会での対応状況について説明がありました。

質疑応答での講師と受講者とのやり取りも活発に行われ、実りある2日間となりました。



野川名誉教授



森戸教授



菅村局長

# 連合大学院 2027年度入学説明会のご案内

日時

6月5日(金)  
13:00~14:30

連合大学院は、2027年4月入学の新生を募集するにあたり、指定団体推薦入学説明会をオンライン形式で開催します。ぜひご参加ください。  
※問い合わせ、申し込みはこちらまで → [recss@rengo-ilec.or.jp](mailto:recss@rengo-ilec.or.jp)

## 連合大学院（法政大学大学院 連帯社会インスティテュート）とは

法政大学と連合、教育文化協会が連携し2015年4月より法政大学大学院に設置された2年間の修士課程プログラムです。授業は、平日の夜間（18:30~21:40）および土曜日（9:00~20:15）に行い、仕事をしながら学べる社会人大学院です。

労働組合・協同組合・NPOの3つの研究プログラムで構成され、体系的で幅広い学びと同時に、様々な分野の専門家や実践家との交流の機会を通じて「新しい公共」の担い手となる人材を養成しています。

## ワークルール検定2026・春 申込受付中



働くときに必要な知識を学ぶことができる「ワークルール検定」は、6月に初級検定・中級検定を開催します。IBT<sup>※</sup>方式で、自宅でも職場でも、場所を問わず受けられますので、ぜひチャレンジしてみませんか！

※Internet Based Testingの略称で、パソコン、スマートフォン、タブレットで受検できます

◎検定実施期間 6月12日(金)~13日(土)

◎申込締め切り 5月29日(金)

詳細はワークルール検定協会  
ウェブサイトをご覧ください



## 第97回

## メーカー中央大会に出展します

4月29日(水・祝) 10:00から代々木公園で開催される第97回メーカー中央大会に、ILECとして出展します(ブースC1)。

お楽しみコーナーではゲームに参加いただいた方にささやかな景品をプレゼント!あわせて、現在募集中の「私の提言」のチラシ配布や、出版物のご紹介も予定しています。ぜひみなさまのご来場をお待ちしています。



## 編集後記

この編集後記を書いている3月初旬では、まだ多少冷えますが、春の陽気を感じる日が増えてきています。日が伸びてきたことで、我が家の愛犬(豆柴・3歳)も近所の友犬も活発になり、散歩中の交流が増えて嬉しい限りです。先日、犬を撫でながら涙を流している飼い主さんに遭遇し、何かあったのかと焦って声をかけました。犬に付いた花粉を必死で掃っている花粉症の方でした。(はまちゃん)